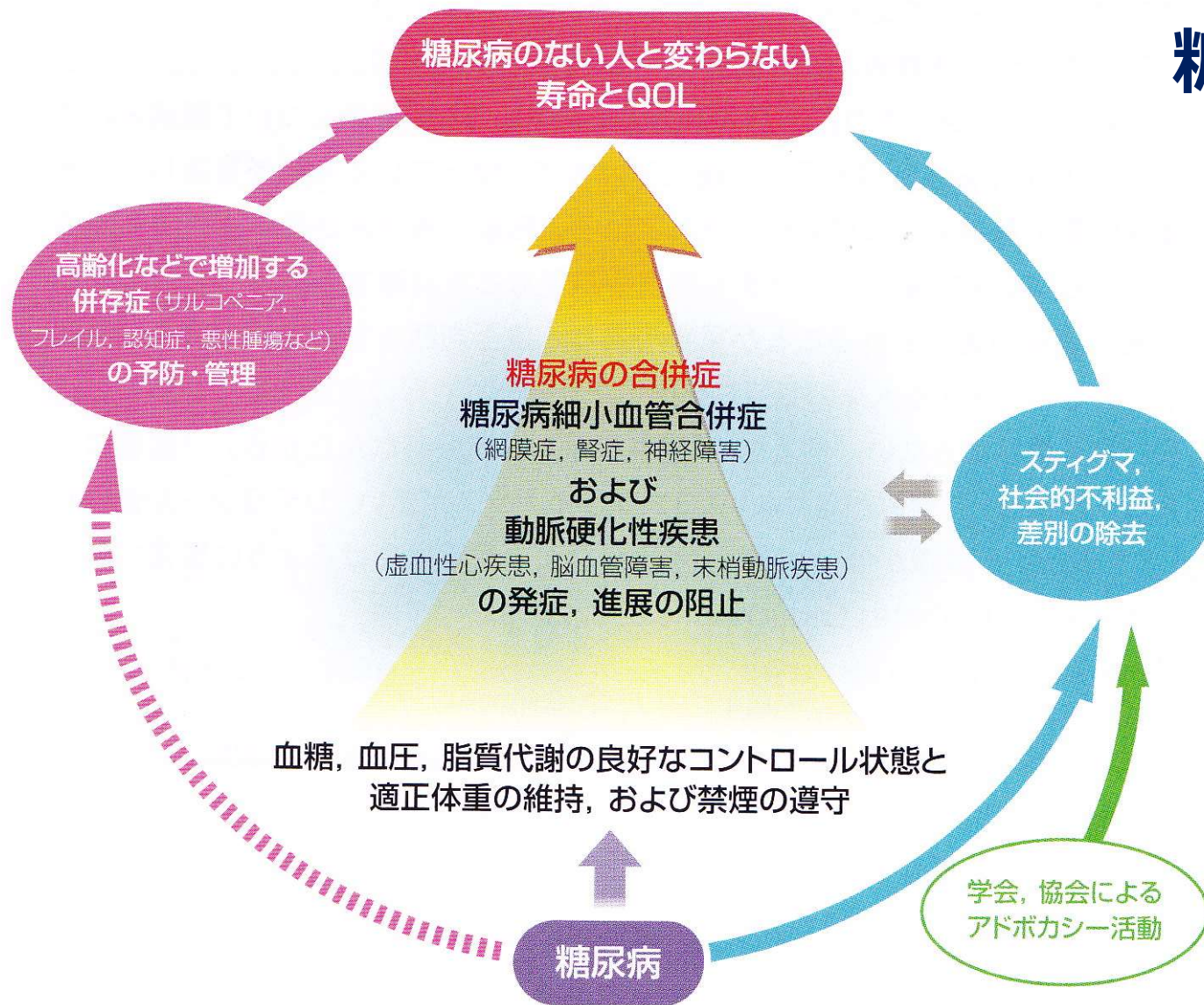


糖尿病治療の目標

現在
糖尿病とスティグマ
が問題になっている

糖尿病治療ガイド 2021-2022.
日本糖尿病学会 編.
文光堂より引用



COLUMN

糖尿病に関わるスティグマとアドボカシー

スティグマ (stigma) とは、特定の属性に対して刻まれる「負の烙印」という意味を持ち、誤った知識や情報が拡散することにより、対象となった者が精神的・物理的に困難な状況に陥ることを指す。糖尿病治療は近年向上し、血糖コントロールを良好に保つことで健常者と変わらない生活を送ることができるにもかかわらず、必要なサービスを受けられない、就職や昇進に影響する、などの不利益を被るケースが報告されている。こうしたスティグマを放置すると、患者が糖尿病であることを周囲に隠すようになり、結果として適切な治療の機会を失い、糖尿病やその合併症が重症化してしまう場合がでてくる。結果として、国民全体の健康寿命の短縮、医療費の増大や生産性の低下などにもつながるなど、個人から社会全体のレベルまでさまざまな悪影響を及ぼすことになる。

成人1型糖尿病患者における 経済的・社会的影響に関する 実態調査

様々な社会制限、差別がある
感じている。

(恩田, 他: 糖尿病
64:577-585, 2021より引用)

Table 3 社会生活に関する制限 (WHO-DAS)

	(人)	(%)		(人)	(%)
病氣のために家事 (家の手伝い) を出来ない			病氣のために家族・親戚との活動に制限がある		
非常にあてはまる	3	1.7	非常にあてはまる	9	5.1
ややあてはまる	15	8.5	ややあてはまる	36	20.2
あまりあてはまらない	45	25.6	あまりあてはまらない	35	19.7
全くあてはまらない	113	64.2	全くあてはまらない	98	55.1
無回答	7		無回答	5	
病氣のために偏見・差別にあう			介助のために家族が仕事・学校を休むことがある		
非常にあてはまる	16	9	非常にあてはまる	9	5
ややあてはまる	46	26	ややあてはまる	18	10.1
あまりあてはまらない	41	23.2	あまりあてはまらない	30	16.8
全くあてはまらない	74	41.8	全くあてはまらない	122	68.2
無回答	6		無回答	4	
病氣のために地域活動で出来ないことがある			病氣のために感情的に影響を受ける		
非常にあてはまる	7	3.9	非常にあてはまる	37	20.8
ややあてはまる	9	5.1	ややあてはまる	43	24.2
あまりあてはまらない	37	20.8	あまりあてはまらない	38	21.3
全くあてはまらない	125	70.2	全くあてはまらない	60	33.7
無回答	5		無回答	5	
病氣のために友人・同僚との交流に制限がある			病氣のために経済的損失をもたらした		
非常にあてはまる	11	6.2	非常にあてはまる	73	41
ややあてはまる	35	19.7	ややあてはまる	38	21.3
あまりあてはまらない	39	21.9	あまりあてはまらない	26	14.6
全くあてはまらない	93	52.2	全くあてはまらない	41	23
無回答	5		無回答	5	

成人1型糖尿病患者における 経済的・社会的影響に関する 実態調査

N=242 (男/女=66/115)

年齢：36.4±13.3歳

診断年齢：16.3±14.3歳

**毎月の医療費：
(1.3-2.5)万円**

Table 2-② 社会生活に関する項目

	(人)	(%)
病気を理由に採用されなかった経験がある (N=97)		
はい	18	18.6
多分	12	12.4
わからない	33	34.0
いいえ	31	32.0
無回答	3	
職場の人は病気のことを知っているか (N=144)		
はい (全員)	35	24.8
はい (一部)	80	56.7
いいえ	26	18.4
無回答	3	
病気を理由に転職/退職経験がある (N=144)		
はい	30	22.2
いいえ	105	77.8
無回答	9	
病気を理由に転職した事情の詳細 (複数回答)		
転職を勧められた	14	46.7
周囲の無理解	8	26.7
通院しにくかった	5	16.7
休みがとりにくい	3	10
合併症の悪化	2	6.7
その他	4	13.3
無回答	1	

(恩田, 他: 糖尿病
64:577-585, 2021
より引用)